

福生市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン(案)に関する意見

実施期間 令和4年1月4日(火)～令和4年1月18日(火)

提出人数 2名 5件

提出方法 メール 2名

	市民意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>1. データセキュリティについて</p> <p>福生市に要望してもどうかとも思うが、システム構築を民間丸投げでは情報漏えいや不正利用、データ人質などの恐れがある。特に米国の会社の場合「日米デジタル貿易協定」(’20. 1. 1)に縛られ、データサーバーの国内設置が保障されないなど、デジタル主権のない現状での国を挙げてのデジタル化には賛成しかねる。</p>	<p>いただきました御意見は、本計画の趣旨と異なることから、本計画の修正等は考えておりません。情報漏えいや不正利用に関しましては、今までも情報セキュリティポリシーの徹底のほか、本計画の取組方針「セキュリティ対策の徹底」に記載があるとおり、情報セキュリティ対策を推進してまいりましたが、本計画の策定期により一層セキュリティ対策の徹底を図ってまいります。</p>
2	<p>2. マイナンバーカードについて</p> <p>マイナンバーの普及が進まないのは、国民の中の政治・行政に対する不信感が大きいという背景が原因である。都合の悪い情報は隠ぺいし、都合の悪いデータは改ざんする。裁判で明らかにしようとしても1億円支払って打ち切りをはかる。</p> <p>国民が安心して任せられる法整備をはじめ政治・行政への信頼回復が求められる。</p>	<p>いただきました御意見は、本計画の趣旨と異なることから、本計画の修正等は考えておりません。マイナンバーの普及に関しましては、本計画の取組方針「マイナンバーカードの普及促進」に記載のとおり、マイナンバーカードの普及促進の取組を推進していきます。</p>
3	<p>3. デジタルディバイドなど</p> <p>以下の何点が要望したい。</p> <p>デジタル化により効率化されて生まれる職員の時間や余力は市民サービスの円滑化を向上させるため、来庁者を待たせない対応、対面業務に充てるべき。決して人員削減や外注化でぎりぎりの人員にしないこと、デジタル化で職員の業務に余裕ができるようにすること。</p> <p>また、ネット環境やPCのない市民のためPC貸出、PC使用ルームを整えるなどのデジタル化の恩恵を広める環境も整備すること。</p>	<p>本計画の目的に「業務効率化による人的資源を行政サービスの向上へ繋げていくこと」を掲げており、デジタル化により、効率化されて生まれた時間を更なる行政サービスの向上へ繋げていくこととしております。</p> <p>また、取組方針の「地域社会のデジタル化」に記載があるとおり、通信基盤の整備等による地域社会のデジタル化を推進することとしております。</p> <p>このため、いただきました御意見は本計画に内包されていると考えております。</p> <p>なお、具体的な取組につきましては、今後のデジタル化を推進していく上での、御意見として参考にさせていただきます。</p>
4	<p>4. 個人情報保護について</p> <p>個人情報とはだれが保護するのか。</p> <p>個人情報は個人のものであり、情報の保護は個人の権利とするべきである。個人情報は自治体以外の国や都や企業などが本人の同意なしに取得・利用できないような仕組みが必要。自治体の裁量で可能な限り個人情報の保護、住民を守る責務を果たして頂きたい。もちろん、都や国への働きかけも含めて。</p>	<p>いただきました御意見は、本計画の趣旨と異なることから、本計画の修正等は考えておりません。なお、市では、現在も法令をはじめ、福生市個人情報保護条例及び福生市個人情報保護条例施行規則等の規程を遵守し、個人情報保護に努めておりますが、本計画を推進するにあたり、より一層法令遵守、個人情報保護に努めてまいります。</p>

<p>当方、電磁波過敏症を発症しており、生活に多大な影響を及ぼしている。あきる野市でも、電磁波過敏症による被害が発生している。 https://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000011959.html デジタル化推進も良いが、羽村市のように、「環境基本計画」に「電磁波による被害の防止」を盛り込んで、自治体・市民・事業者での取り組みの推進をお願いしたい。福生市は、副市長が最高情報統括責任者(CIO)だそうだが、5Gの推進等の弊害をよく考慮して、市民の健康を守るため、毅然とした対応を望む。</p> <p>＜羽村市の事例＞ 羽村市では、「羽村市環境基本計画」に「電磁波による被害の防止」を盛り込んでいる。 https://www.city.hamura.tokyo.jp/cmsfiles/contents/0000000/232/kih_onkeikaku.pdf 羽村市では、下記のような取り組みをしている。 https://www.city.hamura.tokyo.jp/cmsfiles/contents/0000000/232/c-h19.3-d.pdf https://www.city.hamura.tokyo.jp/cmsfiles/contents/0000000/232/c-h19.3-e.pdf</p> <p>(1)市の取り組み 「★電磁波に関する情報や、携帯電話／PHS中継塔・地上局の設置状況の把握に努め、その結果を情報公開します。」</p> <p>(2)市民の取り組み ・携帯電話の使用はペースメーカー使用者の生命の危険を招くこともあるので、使用する場所などに配慮します。 ・携帯電話は飛行機、電車、バスなど公共交通機関内や病院などでは使用しません。 ・強い電磁波を出すテレビ、パソコン、電子レンジ等(メーカーにより異なるが約10mG前後)からなるべく距離をとり、長時間接しないようにします。 ・電化製品を使わない時は、主電源を切ったりコンセントから抜くようにして、電磁波の発生を抑えるようにします。</p> <p>(3)事業者の取り組み ・製品や設備・施設から発生する電磁波の人体等への影響を自ら把握し、その情報を一般に公表するよう努めます。 ・電磁波の発生を抑えた製品開発を行うよう努めます。 ・製品や設備・施設から発生する電磁波を低減するための各工程における安全対策を徹底していきます。 ・携帯電話／PHS中継塔・地上局を設置する場合は、シールドしたり周辺の土地を十分確保するなど電磁波を低減するための対策を講じます。</p> <p>＜電磁波過敏症の被害事例①＞ 令和4年1月4日 広報ふっさ No.1086の5ページ目に、『市内公共施設等で無料のWi-Fiを使用できる施設が追加されました』と記載されているが、身体が痛くて、公民館の利用に障害が発生している。職員に、『電磁波過敏症なので、Wi-Fiの位置を教えてください』と尋ねても、『どこにあるか判らない』との回答。『利用しない場合は、Wi-Fiの電源をOFFにできないか?』と聞いても、『それはできない』との返答。→Wi-Fiの設置場所は、「第1～8集会室・調理室・美術室・音楽室・視聴覚室」なのだから、「利用申請の際、Wi-Fiの利用を申請」した場合のみ、その部屋のWi-Fiの電源をONにしてほしい。</p> <p>＜電磁波過敏症の被害事例②＞ 武蔵野図書館に滞在中、職員の人が近づいてきたら、急に身体が痛くなったので、『ここには、Wi-Fiが設置されていますか』と尋ねると『ここには無い』とのこと。その職員は、携帯電話(スマホ?)を所持しているそうなので、それが原因と推定。 →職員の人は、勤務中はスマホの電源をOFFにしてほしい。</p> <p>＜電磁波過敏症の被害事例③＞ 電車で、車両の端に座ると身体が痛いので、測定すると、車両端が、異常に磁界が強いことが判った。隣の席の人がスマホを使うと、身体が痙攣する。以前は、『優先席では、携帯電話の電源をお切り下さい。』と謳っていたが、現在、スマホは無制限で利用可能なので、電車内での逃げ場はない。 →国会図書館には、「電子機器の利用禁止の閲覧室」がある。「電子機器の利用禁止の車両」を、鉄道会社に要望したい。</p> <p>＜電磁波過敏症の被害事例④＞ 学校の周囲を歩くと身体が痛いので、学校には近寄らないようにしている。他の自治体では、電磁波過敏症の子供の母親が、学校に要望して、授業中以外はWi-FiをOFFにしてもらった事例もあるそうだ。 →小学校で、iPadを使っているようだが、大丈夫なのだろうか？ 写真で見ると、iPadの画面に顔を近づけすぎだと思う。 ADHDの子供は、本当に精神疾患なのか、大いに疑問を持っている。</p>	<p>いただきました御意見は、本計画の趣旨と異なることから、本計画の修正等は考えておりません。</p>
---	---

<電磁波過敏症の被害事例⑤>

信号機は、身体が痛くなることが多いので、信号機を避けて移動している。

5Gの基地局の設置予定箇所は、全ての信号機・全てのバス停・全ての駅・一部の電柱・一部のマンホール、施設等である。

マンホールは、身体と距離が近いので、人体への影響が大きいと言われている。

→新奥多摩街道で、電柱の電線の地中埋設工事を行っているが、歩道に埋設しているので、人体への影響が大きいと思う。

導電性の物質(電源ライン等)に、高周波ノイズを乗せると、体が痺れるのを経験しているので、

電柱地中化工事には、懸念を持っている。

<電磁波過敏症の被害事例⑥>

スーパーで、突然身体が痛くなったと思ったら、商品棚の裏側で、スマホを操作している人が居たりする。

<電磁波過敏症の被害事例⑦>

身体が痛くなるので、人込みは避けている。

(特に、若者や女性はずっとスマホを操作している。)

(通勤・通学の電車は、行きは寝ている人が多いが、帰りはスマホ率高くて、身体が痛い。)

以上、ご検討宜しくお願い致します。